

2017年12月13日

ニュースリリース

株式会社東京放送ホールディングス

**民間で宇宙開発に取り組む、(株) ispace へ出資、  
次なるミッションでも協業へ**

株式会社東京放送ホールディングス（東京都港区、代表取締役社長：武田信二、以下 TBS HD）は、2017年12月13日に、資源探査等の宇宙開発を手がけるベンチャー企業、株式会社 ispace（本社：東京都港区、代表取締役：袴田武史、以下、ispace）による第三者割当増資を引受、同社に出資いたしました。なお、TBS-HD と ispace は 2017 年 5 月 31 日付で中期にわたる『戦略的メディアパートナー契約』を締結、7 月より社内に全社横断組織である「TBS 宇宙プロジェクト」を立ち上げ、ispace が運営する人類初の月面探査レース「Google Lunar XPRIZE」に日本から唯一参加するチーム「HAKUTO」に関連するコンテンツ制作等での協業をスタートしております。

今回の資金調達により、ispace は民間では日本初となる、独自開発の月着陸船による「月周回」と「月面着陸」の 2 つの月探査ミッションを始動させます。ispace が独自で開発する月着陸船を 2020 年末までを目途に 2 回打ち上げ、Mission1 として 2019 年末頃に月周回軌道へ投入して軌道上からの月探査を、Mission 2 として 2020 年末頃に月面に軟着陸して月面探査ローバーで月面探査を行う予定です。

ispace によると、2040 年には、月に 1,000 人の人が住み、年間 10,000 人が訪れ、建設、エネルギー、鉄鋼、通信、運輸、農業、医療、そして月旅行など、月の「水資源」を軸とした宇宙インフラが構築されることが見込まれています。ispace は、その宇宙インフラが地球で住む人々の生活を支え、地球も月も含めて宇宙全体がエコシステムとなる持続的な世界の実現を目指しています。

今後、TBS-HD では、ispace と以下の協業に取り組んでいく予定です。

- ① 宇宙空間における映像制作のための共同技術開発
- ② 「月面周回」「月面着陸」のミッションに関わるコンテンツ制作・発信
- ③ 「月面周回」「月面着陸」のミッション価値創出のための支援

以上のテーマを中心に今後グループが保有する、放送やデジタル発信、様々なイベントを通して ispace の活動を広く伝える事で ispace の企業価値を高め、それを基点にこれから世界的に成長が期待される民間企業による宇宙開発の動きを幅広く応援し、日本における宇宙開発事業の成長に貢献することを目指しています。

●(株) ispace・袴田武史代表取締役のコメント

「これから宇宙を活用した新しい時代に入っていきます。誰でも新しいことはワクワクすると同時に恐れもあります。これまで宇宙とは関わりのない一般の方や企業の皆様が、宇宙を自らの生活やキャリア、そしてビジネスの新しい場所として認知するきっかけを生み出すために、メディアの力は非常に重要だと認識しています。今回投資していただいた機関投資家や事業会社の皆様のネットワークと TBS 様のメディアの力を融合して、月面資源を軸にした民間の宇宙ビジネスの拡大と、さらにその先にある人類が宇宙で生活する世界を創造していきます」

●(株)東京放送ホールディングス・武田信二代表取締役社長のコメント

「いま、TBS グループも未知の宇宙に挑むかのような、大きな変革の時代を迎えています。それはリスクではなく、多くの議論が生まれ、様々な挑戦の結果新しいイノベーションが生まれるチャンスだととらえています。これから始まる ispace のミッションと共に我々も知恵を絞り、汗をかき自らの手で未来を作り上げる努力を惜しみません。ispace や様々な参画企業と共に民間の宇宙探査・開発という分野で、産業の発展や技術のイノベーションに貢献できる事を願っております」



- ispace 月着陸船のコンセプトモデルイメージ

■ ispace 月探査ミッションイメージ (上: Mission 1「月周回」、下: Mission 2「月面着陸」)



■ 株式会社東京放送ホールディングス 会社概要

所在地：東京都港区赤坂 5-3-6

代表：代表取締役社長 武田 信二

設立：1951年5月10日

資本金：54,986,892,896円

事業内容：認定放送持株会社

URL：<http://www.tbsholdings.co.jp>

● 本リリースに関する問い合わせ先

株式会社東京放送ホールディングス 社長室投資戦略部 片岡、西川

電話：03-3746-1111 (代表)

## ※ispace 紹介資料（ispace12/13 発表リリースより）

### ■ 株式会社 ispace <http://ispace-inc.com/jpn>

「Expand our planet. Expand our future. ~人類の生活圏を宇宙に広げ、持続性のある世界へ~」をビジョンに掲げ、月面資源開発に取り組んでいる宇宙スタートアップ企業。2017年12月に、シリーズA国内過去最高額（2017年12月13日時点）となる101.5億円の資金調達を実施し、日本初民間開発の月着陸船による「月周回」と「月面着陸」の2つのミッションを発表。JAXA、ルクセンブルク政府とも月資源開発で連携。日本、ルクセンブルク、アメリカの3拠点で活動。日本から唯一月面探査レースに参加するチーム「HAKUTO」の運営を行っている。

### ■ ispace の開発方針

世界最軽量・最小の輸送機（Lander）と探査車（Rover）をアジャイルに開発し、柔軟な設計かつ低コスト・高頻度・機動的なミッションを計画します。ispace が持つ小型軽量化の技術でミッション全体のコストを抑え、ロケットへの搭載機会を増やすことで、高頻度の打ち上げ機会を創出し、研究開発を加速、さらに量産による品質安定化を見込んでいます。

### ■ グローバルで関心が高まる宇宙産業

宇宙産業で構造的変換が起こっており、民間がビジネスを構築できる時代になっています。技術のコモディティ化が進展し、低価格で高性能かつ安定品質の民生品が活用され、ソフトウェアをベースとしたシステム設計が主流となっています。政府予算の変化を背景に民間主導で開発・運用が進み、政府がサービスを購入する、「官民連携」の宇宙ビジネスへ移行しつつあり、グローバルで宇宙産業への関心が急激に高まっています。

### ■ 宇宙の水資源への注目

打ち上げ、地球観測、通信など数ある宇宙事業の中でも宇宙資源開発への注目が急速に高まっています。2009年、アメリカのNASAの研究により月面で「水」資源の存在が示唆されたことにより、宇宙で水（H<sub>2</sub>O）を電気分解し、液体水素（H<sub>2</sub>）と液体酸素（O<sub>2</sub>）を生成し、それを燃料として補給するガス・ステーション構想が現実化しています。水資源開発による産業創生を見込む月ミッションは、アメリカのNASA、欧州のESAをはじめ、各国が注目するグローバル共通のテーマとなっています。また民間での宇宙資源開発に向けて、アメリカやルクセンブルクをはじめ、各国で法整備の議論が加速しています。

### ■ 株式会社 ispace 概要

所在地：〒106-0041 東京都港区麻布台 3-1-6

代表：代表取締役社長 CEO 袴田 武史

TEL：03-6277-6451 MAIL：[pr@ispace-inc.com](mailto:pr@ispace-inc.com)

